

【生薬名】 丁字 *Caryophylli Flos*

【起源植物】 チョウジ *Syzygium aromaticum (Eugenia caryophyllata)*



【科名】 フトモモ科 *Myrtaceae*

【別名】 丁香、丁字香、クローブ (スパイス名)

【薬用部分】 花蕾

【主成分】 精油 (オイゲノール、フェチルオイゲノール)、タンニン

【薬性】 気味は辛温、帰経は肺胃脾腎に属す

【効能】 ●温中降逆、温腎補陽、

●健胃整腸、抗菌、抗真菌、抗ウイルス作用

●胃寒による「しゃっくり」

●消化不良や胃腸炎で腹痛、手足冷え、嘔吐、下痢などの寒証があるとき

●全身各所の白癬症の患部に煎液を塗ると痒み、落屑が減る

●1日1.5～3 g

●オイゲノールには鎮静、鎮痙、抗炎症、肝薬物解毒酵素活性作用、抗菌作用、抗真菌作用がある

【出典】 ●丁香 辛熱、能く寒嘔を除き、心腹疼痛、胃を温むること暁かなるべし。(薬性歌)

【備考】 ●

【処方例】 ●柿蒂湯、丁香柿蒂湯

●女神散

●香龍散

○新今治水にはオイゲノールを含有